

2 愛防第 53 号
令和 2 年 9 月 30 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

発生予察情報の送付について
病虫害発生予察注意報（第 7 号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

令和 2 年度 病虫害発生予察注意報（第 7 号）

令和 2 年 9 月 30 日
愛 媛 県

病虫害名 ハスモンヨトウ
対象作物 ダイズ、イチゴ等野菜・花き類

- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生程度 多
- 3 注意報発表の根拠
 - (1) 9 月のダイズ及びサトイモにおける調査の結果、ハスモンヨトウによる被害が平年に比べ多かった（表 1）。
 - (2) 県内 7 地点に設置している性フェロモントラップでは、8 月下旬から 9 月中旬にかけて全地点で平年に比べて多く成虫が誘殺されており（図 1）、今後、幼虫による被害が増加すると考えられる。
 - (3) 気象予報では、気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、発生にやや助長的である。
- 4 防除上の注意
 - (1) 産卵は卵塊で行われ、ふ化後間もない幼虫は集団加害し、ダイズ等では白変葉となるため、見つけ次第除去し捕殺する。
 - (2) 幼虫が成長すると薬剤の効果が低下し、食害量も増加してくるので、若齢幼虫期（体長が 1 cm 未満）の散布が有効である。
 - (3) 農薬使用に当たっては、作物ごとの登録を確認し、抵抗性の発達を防ぐため系統の異なる薬剤をローテーション使用する。
 - (4) 野菜や花き類の育苗圃場や施設では防虫ネット（4 mm 目合い）によるトンネル被覆や施設開口部の被覆を行い、成虫の侵入を防止する。

表 1 ハスモンヨトウによる作物別発生調査結果（R2.9）

調査年	ダイズ		サトイモ
	白変葉数/a	食害度	食害度
R2	1.88	35.4	10.07
平年	1.28	15.2	5.15

1) 平年：H22～R1 の平均値

2) 食害度：葉（株）の食害程度を指数化し算出。

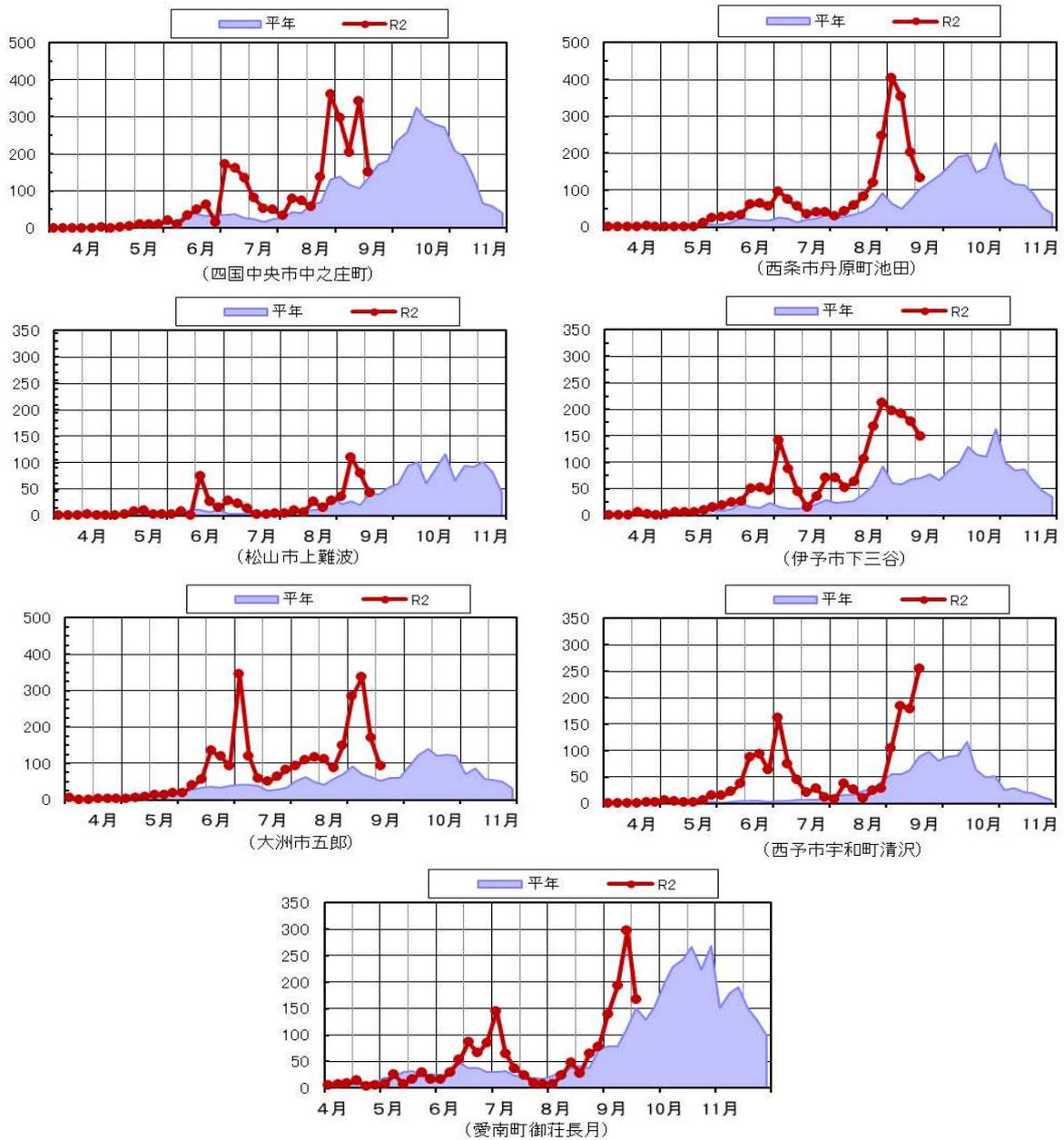


図1 性フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺状況（頭／半旬）



写真1 卵塊



写真2 白麥葉
(ダイズ)



写真3 中齢幼虫



写真4 老齢幼虫